

## 第3学年 学級活動指導案

### 1 題材 「素敵な関係をつくるために」

～デートDVを正しく認識し、しない・させない態度を身につけよう～

### 2 生徒の実態

- 本学級の生徒は、男子15名、女子13名、計28名で構成されている。デートDVに関する意識調査結果、次のような実態が明らかになった。

(性別役割分担意識に関すること)

- ・30.7%の生徒は家事や育児は女性の仕事だと思い、28.2%の生徒が男性は結婚したら家族を養うべきだと思うなど、性別役割分担意識を持っている。
- ・男女とも、社会によって作り上げられた「女性像（控えめ、男性に従う）」の意識は低いが、「男性像（弱音をはかない、強くたくましい）」を強くもっている。また、女子に比べ男子のほうが、「男性像」を強くもっている。

(異性間における対応に関すること)

- ・92.3%の生徒が交際相手と意見が合わなかったとき、「話し合いで解決する」と回答している。一方で、41.0%の生徒が交際相手に腹が立ったとき、「がまんする」と回答しており、解決しようとする意欲は高いが、その方法が十分に身につけているとはいえない。

- 人権尊重の理念は、「自分の人権のみならず他人の人権についても正しく理解し。その権利の行使に伴う責任を自覚し、人権を相互に尊重しあうこと、すなわち『「人権の共存」の考え方』として理解することが必要である。そして、人権教育を推進するに当たっては、普遍的問題・個別的問題の解決に向けた取り組みが必要である。

デートDVは個別課題のひとつで、高校生や大学生などの若者の中で発生している交際中に起きるDV問題である。近年、デートDVが教育機関、地域の相談窓口、被害者支援機関、警察などで認知されていく中、その対応や問題を未然に防止する取組が必要とされており、中学生のこの時期にデートDVの防止教育を行うことは意義深いと考える。

- 指導に当たっては、生徒が単なる知識の学習ではなく、デートDVを防止するために大切なコミュニケーションの方法（Iメッセージ）を実践しようとする態度を育てるとともに、実際にデートDVの現場に遭遇した場合の相談の仕方など、具体的な例を挙げ、ロールプレイを取り入れる。

ロールプレイを2つの場面を想定して行う。

- ・ケース1・・・友人がデートDVの被害にあった場合に相談を受ける場面
- ・ケース2・・・友人の交際相手にデートDVを認識し、やめてもらう場面

最後に、学習したことを今後どのように生かしていくか自己決定できるように、「交際しているときに気をつけたいこと」について考えをまとめ、発表する場を設定する。

#### 本時指導における人権が尊重される授業づくりの視点

〈自己存在感を持たせる支援〉・・・生徒の少数意見も伝える。

ロールプレイの実施。

〈共感的人間関係を育てる支援〉・・・ロールプレイの際に互いに感想を伝えあう。

〈自己選択・決定の場の設定〉・・・自分の今後の行動目標を記述する時間を設定する。

### 3 指導の系統【総合単元的な学習指導】

(1) 目標

自他の人権を尊重する生徒を育てる

(2) めざす生徒の姿

- ・交際中、自分の思い通りにならない場合でも、暴力で解決するのではなく、I メッセージを使って問題を解決しようとする生徒
- ・交際相手からのデート DV の被害にあった場合に、それがデート DV であることを認識し、すぐに誰かに相談することができる生徒

(3) 指導計画

時	実施月	領域	学習の主な目標	育てたい資質・能力
1	7月	帰りの会	総合単元的な学習での学習内容および指導の系統をつくるための事態調査を行う。	
2	9月	道徳 3－(1)	命の尊さを実感し、限りある命を自分らしく生きていこうとする態度を養う。	価値的側面 態度的側面
3	10月	道徳 2－(6)	尊い命だからこそ互いに支え合い生きていこうとする態度を育てる。	価値的側面 態度的側面
4	10月	学級活動 (2)－イ	ジェンダーバイアスのおかしさに気づかせ、男女が互いに支え合って生きていくために必要な心構えをもたせる。	知識的側面
5	10月	道徳 2－(2)	相手の立場や状況を推し量り、行動しようとする態度を育てる。	価値的側面 態度的側面
6	10月	学校行事 (2)－ア	交際中、素敵な関係をつくるために大切な行動があることを理解できるようにする。	技能的側面
7	11月	学級活動 (2)－ア	デート DV を理解し、素敵な関係作りに必要なコミュニケーション能力 (I メッセージ) を身につけられるようにする。	知識的側面 技能的側面
8	11月	学級活用 (2)－ア	交際相手からのデート DV の被害にあった場合に、それがデート DV であることを認識し、すぐに誰かに相談できるようにする。また、身近でデート DV に遭遇した時の対処法を身につける。	知識的側面 技能的側面
9	11月	帰りの会	総合単元的な学習の成果と課題を明らかにし、今後の改善に生かすための意識調査を行う。	

#### 4 本時

##### (1) 本時の主眼

- 男女交際における問題点に気付くことができるようにする。 (課題把握)
- 交際相手に暴力を振るっている、あるいは振るわれている友人を見た時の対応の仕方を身に付けることができるようにする。 (実践への態度)
- ロールプレイを通してデート DV を正しく理解し、今後、交際するときに自分は交際相手を傷つけないという自己主張ができるようにする。 (自己決定)

##### (2) 本時の展開

	主な活動と内容	指導上の留意点	配時
問題の意識化	<p>1 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <p>(1) 生徒会劇のビデオを見て、デート DV の問題点を知る。</p> <p>(2) 本時のめあてを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>デート DV に遭遇した時の対処法を考えよう</p> </div>	<p>○デート DV の問題点を理解させるために、文化祭の VTR (生徒会劇) を視聴させ、具体例で説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・心理 (精神) 的暴力</li> <li>・身体的暴力</li> <li>・社会的暴力</li> <li>・その他 (性的・経済的)</li> </ul> <p>→これらをデート DV と認識していない</p>	<p>7</p> <p>3</p>
具体的な活動	<p>2 加害者被害者それぞれが認識していない場合に友人としてできることを考える。</p> <p>(1) ケース 1 でロールプレイを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交際相手の言動について友人から相談を受ける場面</li> </ul> <p>(2) ケース 2 でロールプレイを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友人の交際相手に、それらの言動がデート DV であると伝える場面</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ロールプレイの進め方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①自分の考えをまとめる</li> <li>②ペアでロールプレイを行う</li> <li>③感想を伝え合う</li> </ul> </div>	<p>○デート DV の知識がある人の役割を認識させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・加害者被害者それぞれに正確に伝える</li> </ul> <p>○友人である被害者と、その交際相手の言動がデート DV であることを、I メッセージを用いて伝えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人の関係を尊重していること (自分・相手・気持ち・体)</li> </ul> <p>○ロールプレイが活発に行われるように、机間巡視しながら生徒の意欲的な姿勢や伝え方の良さを個別に称賛する。</p>	<p>15</p> <p>15</p>
実践への意欲化	<p>3 学習のまとめを行う。</p> <p>(1) 代表ペアのロールプレイを見て、正しく伝えることの重要性を理解する。</p> <p>(2) 今後、交際するときに、より良い関係でいられるように自分が心がけることを書く。</p>	<p>○正しく伝えることができていた代表ペアに、みんなの前でロールプレイを行ってもらい、その良さを称賛する。</p> <p>○実践への意欲を高めるために数名の生徒に今後の心構えを発表してもらい称賛する。</p> <p>○自分の力では解決できない問題に直面した時は専門の機関に相談することを伝える。</p>	<p>7</p> <p>3</p>